

2001年10月29日

報道関係各位

AstraZeneca PLC
2001年第3四半期および1-9月期の業績

第3四半期の売上の伸びは好調。開発ポートフォリオの進展は順調。通年の好業績に自信」

フィナンシャルハイライト (例外的損益項目控除前)

グループ (継続事業*)	第3四半期	第3四半期	恒常為替	1-9月期	1-9月期	恒常為替
	2001	2000*	%	2001	2000*	%
	\$m	\$m		\$m	\$m	
売上高	3,950	3,797	+9	12,040	11,660	+8
営業利益	1,015	967	+6	3,066	3,013	+4
税引前利益	1,038	977	+7	3,167	3,076	+6
1株当たり利益						
グループ	\$0.43	\$0.39	+12	\$1.30	\$1.23	+8
グループ (法定会計 Statutory FRS3)	\$0.41	\$0.37		\$1.25	\$1.25	

* 前期から農業事業を除く。法定会計はFRS3 EPS例外。伸び率は恒常為替レート(CER)

- Nexium™ は米国のPPI市場で9月における新規処方シェア13.3%を獲得。これで、上市以来、200万枚の処方箋が書かれたこととなります。Nexium の上市以来、米国の酸分泌抑制剤市場における当社の製品を合わせたシェアは31.5%に伸びました。
- GI フランチャイズの売上高は、第3四半期および1-9月で、4%増。
- Losec™ /Prilosec™ を除く売上高は、呼吸器、オンコロジー、CNS製品群の売上が好調だったため、第3四半期で19%増。
- 欧州諸国でSymbicort™ の上市を引き続き展開。第3四半期は、英国、フランス、イタリア、スペインで上市。
- 片頭痛治療薬Zomig™、日本で上市。
- Casodex™ 150 mg 錠、早期前立腺がん治療の適応で初めて承認取得。
- Iressa™、年内の申請に向けて準備中。

トム・マキロップCEは、「マーケティングプログラムの成功により、第3四半期の新製品および成長製品の両方において、売上高の伸びは好調で、通年でも良い結果が達成できる自信があります。Crestor™ や、より最近ではIressa™ の素晴らしい臨床データが発表され、開発ポートフォリオは順調に進展しました」と述べました。

London, 24 October 2001

Media Enquiries:	Steve Brown/Emily Denney (London) Staffan Ternby (Södertälje) Rachel Bloom (Wilmington)	(020) 7304 5033/5034 (8) 553 26107 (302) 886 7858
Analyst/Investor Enquiries:	Mina Blair-Robinson (London) Staffan Ternby (Södertälje) Ed Seage (Wilmington) Jörgen Winroth (Wayne)	(020) 7304 5084 (8) 553 26107 (302) 886 4065 (609) 896 4148

ビジネスハイライト 伸び率は恒常為替レート(CER)

1-9月期の売上高は8%増、営業利益は4%増でした。米ドル高の影響で、売上高で5%、営業利益で2%のマイナス影響を受けました。1株当たり利益(例外的損益項目控除前)は8%増の\$1.30でした。

第3四半期の売上高は9%増、営業利益は6%増でした。今期は為替の変動が大きかったです、売上高で5%、営業利益で1%のマイナス影響にとどまりました。にとどまりました。1株当たり利益(例外的損益項目控除前)は12%増の\$0.43でした。

GI(消化器)フランチャイズの業績は引き続き好調でした。第3四半期および1-9月期の売上高は4%増でした。1-9月期の Losec™/Prilosec™ の売上は2%減でした。これは、主に米国における Prilosec™ の処方需要低下によるものです。一方、Nexium™ の売上は好調で1-9月期で、2億9千5百万ドルでした。これは Losec™/Prilosec™ の売上減をカバーする以上の成果でした。Nexium™ の処方箋枚数の総数は米国で上市以来今や、2百万枚を超えました。

第3四半期末以降、米国における Prilosec の物質特許に関わる6カ月の pediatric 独占期間は、10月5日に失効しました。製剤特許を含む他の特許を防衛する係争中の訴訟については、12月5日にニューヨークの法定で審理されます。現在まで、当社はFDAがいかなるオメプラゾールのジェネリック製剤にも承認を与えたと認識していません。

GI以外の第3四半期の結果は、呼吸器(18%増)、オンコロジー(25%増)、中枢神経系(72%増)製品群で、売上が好調でした。

第3四半期の新製品パイプラインの進展には、Crestor™ の素晴らしい臨床データについての新たな発表がありました。Crestor™ の最初の長期第III相試験のデータがリリースされました。これは、本剤の脂質レベルに与える影響力ならびに既存のスタチンより患者さんをコレステロール目標値に到達させる能力が高いというデータを補強するものです。さらに、第II/III相試験で発表された安全性のデータから、現在市販されている同クラスの製品と同等の忍容性および安全性のプロファイルが明らかになりました。

早期前立腺がん治療を適応とする Casodex™ 150 mg錠の使用が、9月17日に英国で初めて承認されました。Iressa™ は予定通り年内の申請を目指して準備中です。第3四半期に上市された製品は、英国、フランス、イタリア、スペインにおける Symbicort™ および日本における Zomig™ です。

年初における前提条件では、売上の伸びは、通年では1桁代の半ば、1株当たり利益はこれを上回る伸びが予測されていました(恒常為替ベース)。受取利息(純額)の予測が低かったことと併せて、現在までの結果および第4四半期の売上予測が改善されたことにより、売上の伸びは1桁代の後半、1株当たり利益の伸びは2桁代に達する可能性が出てきたと言えるでしょう。

注意: : 当社の利益やビジネスの見通しへの期待に関する上記の予測的な記述はリスクや不確定要素をともなっており、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。たとえば、米国におけるオメプラゾールの後発品の発売時期、新製品の承認取得ならびに上市の成否(とくに、Nexium®と Crestor™)、既存製品の継続的成長、コストや経費の増加、グループの現金収支に対する実質的な利息収入の額、為替レートの変動、税率の更なる改善、というようなリスクや不確定要素です。これらやその他のリスクや不確定要素については、2000年アニュアルレポートForm20-Fを含む証券取委員会への有価証券報告書をご覧ください。

売上

第3四半期。伸び率は恒常為替レート(CER)

消化器

	第3四半期		CER %	1-9月期		CER %
	2001	2000		2001	2000	
Losec™/Prilosec™	1,421	1,565	-6	4,287	4,532	-2
Nexium™	168	4	n/m	295	4	n/m
Total	1,598	1,581	+4	4,612	4,570	+4

- 第3四半期のNexium™の売上高は、1億6千8百万ドルで、第2四半期の3倍を超えました。米国での売上は、1億3千8百万ドルで、確実に増加する処方需要が出荷に反映されています。Nexium™は米国のPPI市場では、9月単月の新規処方量で、13.3%のシェアを獲得しています。第3四半期では、5ポイント増です。Nexium™の上市后、PPI市場において、Prilosec™を含む全製品を合わせた新規処方のシェアは45.9%に伸長しました。
- Nexium™と比較薬剤であるランソプラゾールとの1対1の臨床試験の結果が、今月初めにアムステルダムで開催されたthe United European Gastroenterology Weekで発表されました。食道炎の治療において、Nexium™がランソプラゾールより有意に高い治癒率を達成したことが示されました。
- Prilosec™の米国での売上は、1-9月期で6%減でした。これにより、Losec™/Prilosec™の全世界の売上が昨年より2%減になりました。米国以外では、Losec™(日本ではオメプラール)の売上は4%増で、これは、日本(89%増)、フランス(21%増)、イタリア(38%増)における売上の伸びが継続して好調であることによります。

循環器

	第3四半期		CER %	1-9月期		CER %
	2001	2000		2001	2000	
Zestril™	188	299	-34	832	960	-10
Atacand™	93	72	+37	289	196	+56
Seloken™ / Toprol-XL™	204	144	+46	554	405	+42
Plendil™	120	120	+5	332	353	-1
Total	786	851	-3	2,621	2,635	+4

- 米国におけるZestril™の総処方量は、継続して伸びていますが(9月までで5%増)、四半期ベースの推移は、2000年および2001年における卸の不規則な出荷時期の影響が継続しています。第3四半期の売上は55%減でした。昨年の四半期ベースの低ポイントと比較する次の四半期では、この影響は、一転することが予測されます。
- Seloken™の売上は、米国におけるToprol-XL™の好調な伸び(76%増)により支えられ、継続して伸びています。処方の伸びは米国市場で約30%です。
- Atacand™は全ての主要市場で好業績となりました。1-9月期の売上は米国で44%増、他の市場では63%増です。第3四半期の米国の売上(4%増)の伸びと、処方量の伸び(44%増)には、大量の在庫減らしによりかなりの差がありました。

呼吸器

	第3四半期		CER %	1-9月期		CER %
	2001	2000		2001	2000	
Pulmicort™	161	159	+7	570	512	+18
Accolate™	20	17	+24	115	131	-10
Rhinocort™	64	51	+29	194	165	+22
Oxis™	29	28	+11	94	84	+22
Symbicort™	20	-	n/m	34	-	n/m
Total	329	295	+18	1,123	1,024	+16

- 米国におけるPulmicort™ およびPulmicort™ Respules™ の業績は (1-9月期で113%増) は、全世界の売上増のの推進力となっています。
- 米国におけるRhinocort™ Aqua (9月単月の総処方量は113%増) は、世界のRhinocort™ の伸びに寄与していません。
- 欧州における上市は展開開始されたばかりですが、Symbicort™ の売上増の勢いは続いています。本製品は現在までに20カ国で上市され、第3四半期には、英国、フランス、イタリア、スペインで上市されました。

オンコロジー

	第3四半期		CER %	1-9月期		CER %
	2001	2000		2001	2000	
Casodex™	149	94	+68	393	314	+32
Arimidex™	47	35	+40	139	117	+26
Nolvadex™	160	130	+27	446	405	+13
Zoladex™	175	189	-	519	553	+1
Total	538	455	+25	1,519	1,411	+14

- 第3四半期のCasodex™ の売上は、全面的に好調でした。欧州での売上は、45%増、日本では53%増、米国では97%増でした。米国の結果から、上半期で傾向を下回っていた出荷が、修正されていることがわかります。1-9月期の売上は、潜在的な需要をいくぶん上回って推移しています。これは、流通に在庫が増えていることを示唆しています。
- 早期前立腺がんの治療を適応として、Casodex™ 150 mg 錠が初めて、英国で9月中旬に承認されました。欧州の他の市場における許可が待ち望まれます。米国では年内に承認申請を予定しています。
- 米国における第3四半期のArimidex™ の売上 (100%増) においてもまた、上半期で傾向を下回った出荷の巻き戻しが反映されています。米国における1-9月期の売上の伸びは (17%増) 現在、概して需要の伸びと一致しています。米国以外での売上は、1-9月期で30%増でした。これには、日本での上市が貢献しています。
- 米国におけるNolvadex™ の需要は上昇傾向を維持し、1-9月期では約9%の伸びでした。第3四半期の伸び率 (44%増) には、低調だった2000年の第3四半期との比較という利点があります。

CNS (中枢神経系)

	第3四半期		CER %	1-9月期		CER %
	2001	2000		2001	2000	
Seroquel™	169	89	+93	526	293	+83
Zomig™	55	46	+27	209	178	+21
Total	237	141	+72	751	495	+55

- 米国におけるSeroquel™ の売上は伸長しました (1-9月期66%増)。マーケットシェアは徐々に伸びており、9月の新規処方量では15.3%でした。日本での上市および欧州での伸びにより、米国以外の1-9月期の売上は8千8百万ドルとなりました。
- 第3四半期の Zomig™ の売上は27%増でした。これは、欧州での好調な伸びと日本での上市直後の売上が寄与しています。米国での売上は、卸が大量の在庫を抱えたことが影響し、第3四半期は減少しました。Zomig-ZMT™ 2.5mg が米国で4月に上市されました。商業的にはより重要な5 mg が、9月18日にFDAに承認されました。

疼痛、感染症、他の製品

	第3四半期		CER %	1-9月期		CER %
	2001	2000		2001	2000	
Merrem™	56	44	+34	162	122	+41
Diprivan™	114	109	+11	329	393	-11
Xylocaine™	52	58	-3	155	175	-4
Marcaine™	20	22	-	61	67	-2
Total	361	379	+4	1,103	1,225	-3

- Merrem™ の1-9月期の業績には、欧州における好調な伸び (22%増) が継続していることと、米国においては昨年マーケティングを再開して以来、売上とマーケットシェアが緩やかに回復していることが反映されています。
- 米国における1-9月期のDiprivan™ の売上はジェネリック製品との競合により、18%減でした。第3四半期における33%増は、昨年の四半期ベースの結果が不規則に推移したためです。

地域別売上高

	第3四半期		CER %	1-9月期		CER %
	2001	2000		2001	2000	
米国	2,166	1,966	+10	6,425	5,976	+8
欧州	1,170	1,205	+6	3,819	3,873	+8
日本	202	207	+15	591	581	+17
その他	412	419	+8	1,205	1,230	+7

- 米国においては、Nexium™ の上市後の好業績が、総売上への伸びに最も貢献しています。次に、Seroquel™、Toprol-XL™、Pulmicort™ が継続して順調に伸びていることが挙げられます。
- フランス、イタリア、ドイツが、1-9月期の売上の伸びに貢献しています。Nexium™、Atacand™、Losec™、Casodex™ が売上増に貢献している主な製品です。
- 日本においては、新製品の上市により売上が伸びています。8月にはZomig™ も上市されました。Casodex™ およびLosec™ (日本名:オメプラール) の売上もまた好調でした。

営業利益

例外的損益項目控除前営業利益は、第3四半期は6%増の10億1千5百万ドル、1-9月期は4%増の30億6千6百万ドルでした。

米ドル高の影響で、営業利益は、第3四半期は1%減、1-9月期で2%減でした。仮に現在の為替レートが年内は変わらないとすれば、為替の影響により1株当たり株価は5セント減になるものという予測が続きます。

1-9月期の営業利益率は、2000年の25.8%から今年は25.5%にやや減少しました。販売および一般管理費の増加は、上市費用によるものです。その他営業収益は1-9月期で3億4千万ドルに達しました。これには、第3四半期における、注入可能なマルチビタミン製品ラインの売却からの受取金が含まれます。研究開発費用の伸び率は、米ドルと比較して英スターリングおよびスウェーデンクローネ安により低く抑えられ、第3四半期の営業利益率(25.7%)に寄与していません。この数字は、今年の第3四半期における25.5%レベルに比べるとやや高めです。

1-9月期には7億ドルのシナジー効果がありました。これは、通年では10億ドルに相当します。例外的費用としてさらに1億2千6百万ドルを1-9月期に計上し、現在までの総計は13億1千2百万ドルとなりました。

利息

1-9月期のグループの受取利息は純額1億1百万ドルでした。第3四半期の受取利息(純額2千3百万ドル)は米国における利率の下落の影響が反映されています。

税金

例外的損益項目を除く1-9月期の実効税率は、昨年同期の29.0%と比較して(継続事業事業分)27.5%でした。

キャッシュフロー

1-9月期の営業活動によるキャッシュフローの増加は、例外的損益項目控除前で33億ドルでした。2000年の最終配当金(8億ドル)を支払い、設備投資に10億ドル、例外的損益項目に3億ドル、税金の支払いに6億ドルそして株式の発行および自社株の買い戻しに7億ドル支出したことにより、エクイティーファイナンス以外の財務活動前のキャッシュフローは純額1億ドルでした。

2001年9月30日現在、グループの正味キャッシュファンドは35億ドルでした。

株の買い戻しプログラム

第3四半期に、普通株式850万株 (額面0.25ドル)が買い戻され消却されました。1-9月期の総計は1千6百7十万株、買入金額は7億7千4百万ドルとなりました。

買い戻し消却された自社株の総数は、1999年12月に本プログラムがスタートしてから今や、3千4十万ドルで、累計13億8百万ドルになりました。流通株式数は (2001年9月30日現在)17億5千1百万ドルです。

2001年第 4四半期イベントカレンダー

12月 3日	アニュアルビジネスレビューミーティング (ロンドン)
12月 5日	アニュアルビジネスレビューミーティング (ニューヨーク)
12月	Iressa™ 新薬承認申請

トム・マキロップ
CE (最高経営責任者)